

あざれあ便り



KURUME COLOPROCTOLOGY CENTER

CONTENTS

- ◆ 特集：そけいヘルニア
- ◆ 大腸がん検診
- ◆ 市民公開講座報告
- ◆ 学会報告
- ◆ A B C 検診
- ◆ 外来担当医一覧



日本三大火祭りの一つ「鬼夜」(大善寺玉垂宮 久留米市大善寺町)

理 念

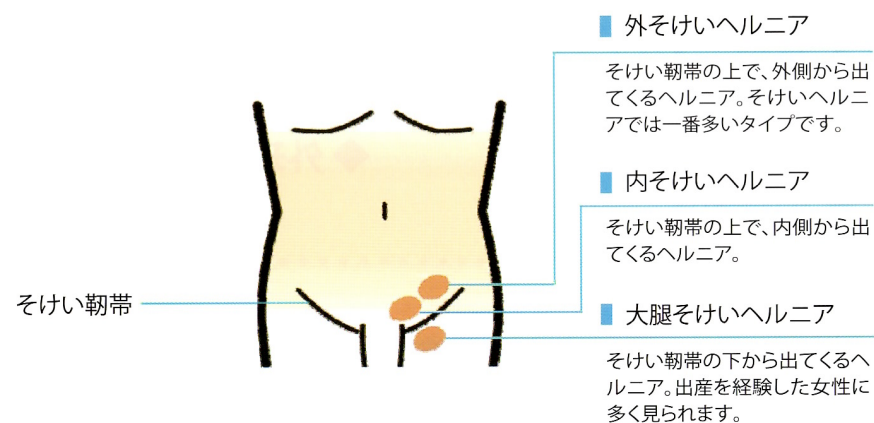


TAKE FREE ご自由にお持ち帰りください

NO.31

そけいヘルニアとは○○○

「ヘルニア」とは、ある臓器が体の弱い部分や隙間から他の部位へはみだした状態をいいます。一般的には、「脱腸」という言葉で知られています。ヘルニアにも色々な種類のヘルニアがありますが、今回はそけいヘルニアについてお話します。そけいとは足の付け根の部分といい、腸が脱出してくる場所によって外そけいヘルニア、内そけいヘルニア、大腿そけいヘルニアにおおむね分類されます。お腹(腸)のヘルニアのうち80～90%を占め、50～60歳代に多く発生し、男性に圧倒的に多く認めます。

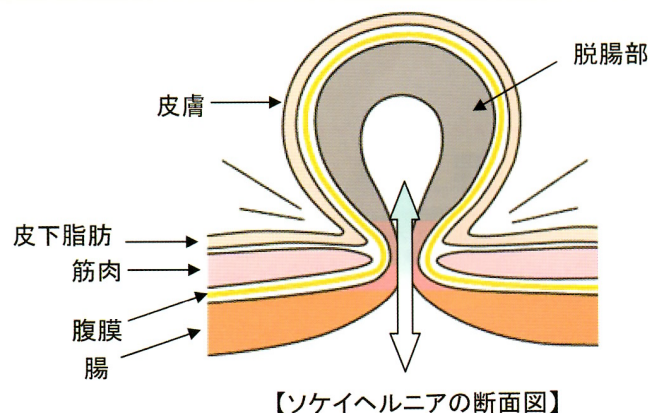


原因は・・・

お腹の壁は筋膜や筋肉で覆われています。そけい部も筋膜や筋肉が重なりあっていますが、このお腹の壁が弱くなっていることなどが原因といわれています。

症状

そけいヘルニアは、咳をした時や立った時などお腹に力を入れた時にそけい部に柔らかい膨らみとして認めます。この膨らみは、手でおさえたり、寝たりすると引っ込みますが、その他に違和感を症状として認めます。通常は自由に出入りしている腸がはまり込んでしまい戻らない状態を嵌頓といいます。この場合は、強いお腹の痛みや吐くなどの症状を伴います。はまり込んでしまった腸に血液が流れず、腸が死んで（壊死）しまうこともあり、命に関わる危険性もあります。嵌頓はいつ起こるか予測できず、嵌頓になった場合は緊急手術が必要となります。ヘルニアに気づいた方は、早めに病院を受診しましょう。



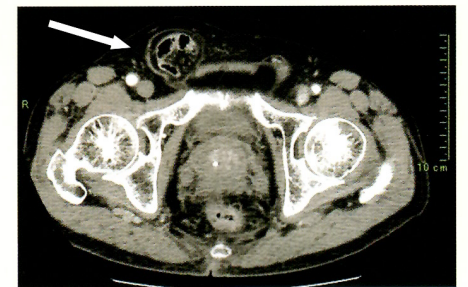
検査

当院でのそけいヘルニアの検査の流れは以下の通りです。

- ① 診察
- ② 腹部造影CT検査（写真1）

①、②を行い手術がきまったら、手術に向けての諸検査（血液検査、呼吸機能検査、心電図、胸部レントゲン検査など）を行います。

【写真1 腹部造影CT検査】



白矢印のところがヘルニアです。

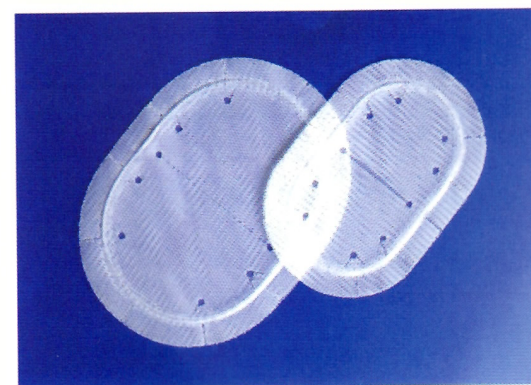
治療

治療は、自然治癒はむずかしいため、手術が必要となります。

当院では、全身麻酔をかけて行う手術が一般的です。

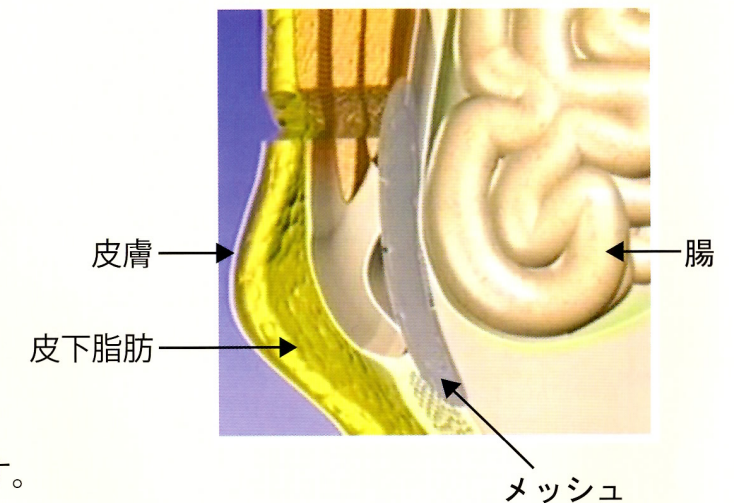
飛び出てくる部分に人工補強材（メッシュ）をあてて、お腹の壁を補強します。（写真2、図1）当院では、お腹を開ける方法（開腹手術）と、傷が少なく術後の痛みが少ない（腹腔鏡下手術）方法で行っています。（グラフ1）

【写真2 メッシュの一例】

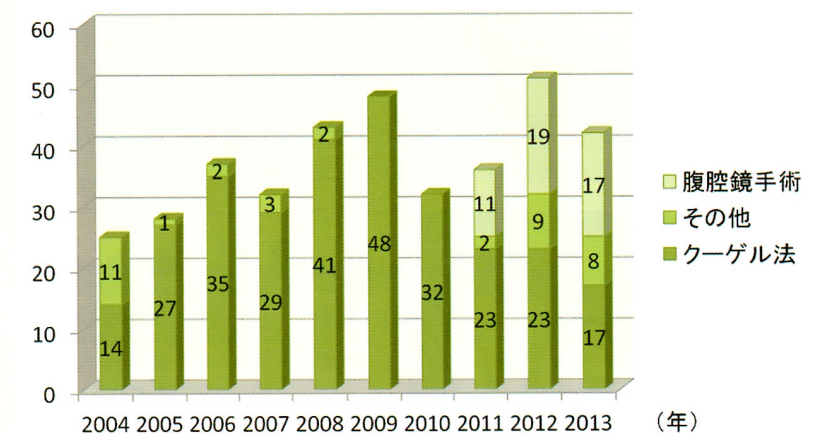


「バード クーゲル パッチ」といい、メッシュ部の材質は、ポリプロピレンです。
＜株式会社 メディコンより＞

【図1 メッシュ挿入後】



【グラフ1 当院のヘルニア手術件数】



ABC 検診

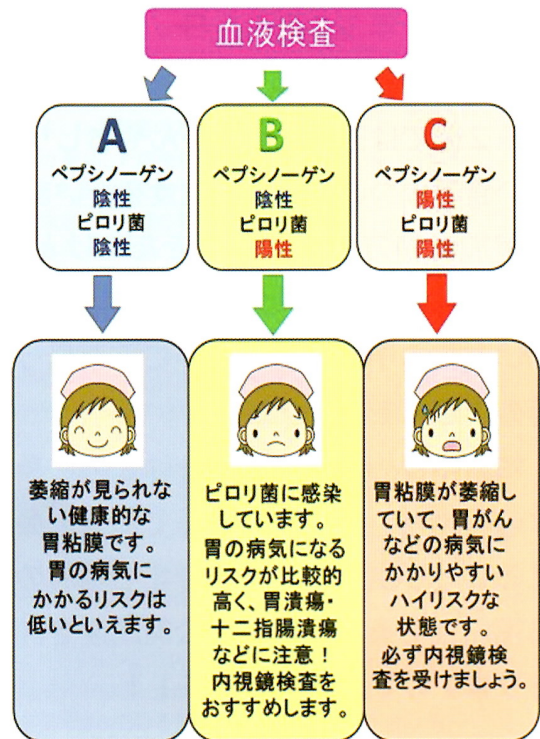
をご存じですか？

胃が萎縮していたり（慢性萎縮性胃炎など）ピロリ菌に感染していると、胃の病気にかかりやすいとされており、胃がんの多くは萎縮した胃粘膜から発生することが知られています。

このABC検診は、胃の萎縮度をはかるペプシノーゲン検査と、ピロリ菌の感染を調べるヘリコバクター・ピロリ抗体検査を併せておこない、胃がんなどの発生リスクを手軽な血液検査のみで知ることができる検査です。

すでに胃の病気等で治療中の方は正しい結果が得られないこともあるため、医師に相談をしたうえで受けられることをお勧めします。

当院では、健診センターで受けることができます。

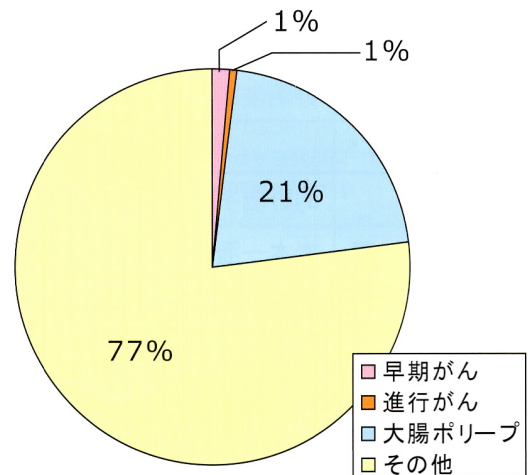


大腸がん検診（便潜血検査）のすすめ

右のグラフのように、高野会（くるめ病院・高野病院）では30年間で2,003,472人に大腸がん検診を実施し、現在までに3,280名に大腸がんが見つかっています。

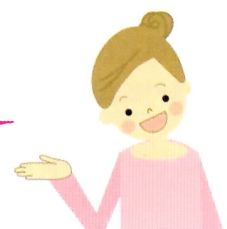
この検査は、食事制限もなく、自宅で採便容器に便を少しとるだけです。又、年一回受診することにより大腸がんでの死亡リスクが、60～80%減少するといわれています。早期がんは治療すれば90%以上の方が完治します。

大腸がん検診（便潜血検査）を受けて、早期発見・治療へと繋げましょう。



1983年度～2012年度に大腸がん検診を受診した方の精検結果

まずは手軽にできる、便潜血検査を受けてみませんか！



くるめ病院 市民公開講座 in 2013 を終えて

平成25年10月19日(土)に『お腹とおしりの話』をテーマに、市民公開講座をくるめ病院で開催しました。第1部では身体計測や健康食品・排泄ケア用品の紹介展示・配布を行い、第2部では医師が大腸がんやおしりの病気について講演を行い、栄養士がお腹とおしりに優しい食事について講演・試食を行いました。

参加者の方からは「聞きたいけど聞けない病気についてよく分かった。」「排便の模様や手術など貴重な映像が見られてよかった。」「怖い病気の予防に努めていこうと思った。」等のご意見を頂きました。

地元の合川校区の皆様をはじめ、多くの方々のご協力、ご支援のお陰で無事盛会裏に終わることが出来ました。今年も地域の皆様にお役に立てるような市民公開講座を計画しておりますので、お楽しみに！！



外来担当医一覧表

平成 26年1月現在

	月	火	水	木	金	土	日	専 門 外 来
午 前	高野正博						担 当 医 よ り 一 名	- 便秘外来 ※1 - 便秘・失禁外来 - ヘルニア外来 - ストーマ外来 (皮膚排泄ケア認定看護師) - IBD外来 ※2 (予約制：火曜・土曜 午前) - 女性外来 ※3 (予約制：月曜・水曜 午前 火曜・金曜 午後)
	荒木靖三	荒木靖三	荒木靖三	荒木靖三		荒木靖三		
	野明俊裕	野明俊裕	野明俊裕		野明俊裕	野明俊裕		
	小篠洋之		小篠洋之	小篠洋之	小篠洋之	小篠洋之		
		的野敬子	的野敬子	的野敬子	的野敬子	的野敬子		
	岩本一亜	岩本一亜		岩本一亜	岩本一亜	岩本一亜		
		山下りさこ	山下りさこ	山下りさこ	山下りさこ	山下りさこ		
	牛島正貴	牛島正貴	牛島正貴	牛島正貴		牛島正貴		
人 間 ドック	佐 藤 郷 子							

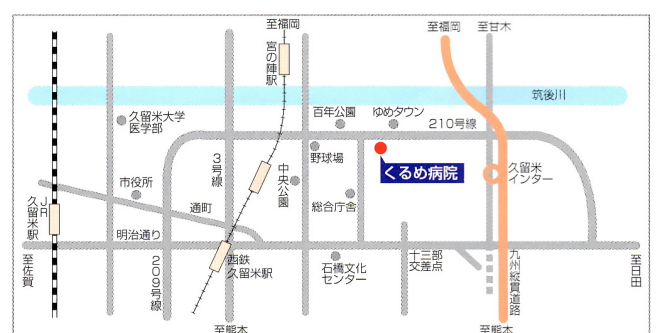
☆専門外来は毎日行っておりますが検査の都合上、午前中の来院をおすすめします。(予約制を除く)
(土曜日PM、日曜日を除く)

担当医： ※1) 荒木 ※2) 光山(久留米大学)・荒木 ※3) 佐藤

診療科目／肛門科・胃腸科

診療受付時間

		受 付 時 間	診察開始時間
平 日	午前の部	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
	午後の部	午後1:00～午後4:30	午後2:00～
土曜日	午前中のみ	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
日曜日	午前中のみ	午前8:30～午前11:30	午前9:00～



学会発表の報告

平成 25 年 4 月～25 年 12 月

開催日	学 会 名	開催地	発表者	演 題
H25.4.11-13	第113回日本外科学会総会	福 岡	荒木 靖三 岩本 一亜	ラットを用いたALTAの直腸肛門障害の検討 直腸癌手術における直腸肛門機能検査の意義
H25.5.10-12	第85回日本消化器内視鏡学会総会	京 都	小篠 洋之	リンパ節転移を有する大腸SM癌の病理学的特徴 および転移高危険群の客観的評価について
H25.5.10-11	第50回九州外科学会	沖 縄	岩本 一亜 的野 敬子 山下 りさこ	骨転移を来した直腸癌の2例 FOLFOX4が著効した直腸癌膀胱前立腺浸潤の1例 魚骨による急性虫垂炎の一症例
H25.5.11	第10回日本痔瘡学会九州地方会	北九州	跡邊 直子	手術体位固定基準作成の取り組み
H25.5.18-19	第62回日本医学検査学会	香 川	中尾 真由美	直腸肛門管排出圧検査の基準値の検討
H25.5.31-6.2	第64回日本東洋医学会	鹿児島	岩本 一亜	便秘・排便障害に対する漢方薬処方
H25.6.14	第13回IBDを学ぶ会	久留米	小篠 洋之	クローン病におけるインフリキシマブ血中濃度トラフ値と臨床症状について
H25.6.21-22	第95回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	北九州	小篠 洋之	当院における難治性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムス治療の短期成績
H25.6.22	第63回九州消化器内視鏡技師研究会	北九州	武富 聖子	経鼻内視鏡における前処置方法の検討～スプレー法とネラトン法の比較～
H25.6.29	第23回骨盤外科機能温存研究会	東 京	岩本 一亜	潰瘍性大腸炎・直腸癌に対する経肛門吻合後の直腸肛門機能に関する検討
H25.7.5	第79回大腸癌研究会	大 阪	小篠 洋之 岩本 一亜	大腸癌術前の腫瘍マーカーとしての血清抗p53抗体測定の意義に関する検討 直腸癌の再発因子としての血清抗p53抗体の意義
H25.7.17-19	第68回日本消化器外科学会総会	宮 崎	野明 俊裕 岩本 一亜 的野 敬子	骨盤底臓器脱に対する手術の工夫と成績 潰瘍性大腸炎に対するIAAの評価—IACAと比較して— 当院における高齢者（前期・後期）補助化学療法の実現と対策
H25.8.10	第7回西日本直腸肛門疾患懇談会	熊 本	牛島 正貴	便流量検査～機能性排便障害における診断検査、スクリーニング検査としての可能性について～
H25.8.29-30	第54回日本人間ドック学会	浜 松	佐藤 郷子	人間ドック受診者の肛門病変と便潜血検査についての検討
H25.9.7	第19回大腸肛門機能障害研究会	東 京	野明 俊裕 種子田 美穂子 国武 ひかり 福山 剛司	骨盤底臓器脱の診断と治療 機能性排便障害における便流量測定の位置づけ～第2報～ 便失禁に関するアンケート調査 Defecographyにおける正面撮影の意義
H25.9.14	第38回日本大腸肛門病学会九州地方会	鹿児島	岩本 一亜 山下 りさこ	潰瘍性大腸炎に対する手術適応の変遷—Tacrolimusの導入前後を比較して— 当院のperianal herpesの臨床的検討
H25.9.14	第29回九州ストーマリハビリテーション研究会	鹿児島	山浦 聡子	緊急ストーマ造設を要した要介護高齢者の排泄方法の検討
H25.9.20-21	第26回日本サイコロコロジー学会	大 阪	岩本 一亜	放射線による緩和が奏功した大腸癌骨転移の1例
H25.9.28	杏林IBD Symposium in Kyushu IBD・そこが知りたい凝縮の2時間	福 岡	野明 俊裕	症例3.肛門狭窄と痔瘻癌
H25.9.28	第94回九州大腸肛門病懇談会	久留米	小篠 洋之	大腸憩室症の画像診断（大腸内視鏡、注腸造影、CTコロノグラフィでの比較）
H25.10.9-12	日本消化器関連学会週間（JDDW）	東 京	小篠 洋之 岩本 一亜	大腸内視鏡挿入における無送気挿入法の検討（消化器内視鏡学会） 直腸癌に対する腹腔鏡手術の再発病態と問題点（消化器外科学会）
H25.10.24-26	第51回日本癌治療学会	京 都	的野 敬子 釣谷 友起子 乙咩 良子	当院における高齢者の術後補助化学療法の現状 当院でのXELOX治療に対するチーム医療の取り組み 当院におけるオキサリプラチンの過敏症発現について
H25.10.26	宮崎ALTA（ジオン）治療勉強会	宮 崎	荒木 靖三	ラットを用いたALTAの直腸肛門障害の早期観察
H25.11.8-9	第96回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	宮 崎	小篠 洋之	大腸憩室出血における高齢者と非高齢者との比較
H25.11.9	第49回東海肛門疾患懇談会	浜 松	荒木 靖三	たかが便秘、されど便秘
H25.11.15-16	第69回日本大腸肛門病学会学術集会	東 京	野明 俊裕 小篠 洋之 的野 敬子 岩本 一亜	クローン病術後抗TNF α 抗体療法の長期予後 当院における早期直腸癌治療の検討（早期結腸癌との比較） 当院でのLE+ALTA療法とALTA単独療法の治療成績と再発の検討 潰瘍性大腸炎の術後QOLに関する検討
H25.11.21-23	第75回日本臨床外科学会	名古屋	野明 俊裕 的野 敬子	直腸脱に対する直腸後方固定術の限界 術前化学療法を施行した局所進行直腸癌3例についての検討
H25.11.25-26	第26回日本外科感染症学会	神 戸	岩本 一亜	直腸領域における手術部位感染発生率の検討—とくにストーマに着目して—
H25.11.28-30	第26回日本内視鏡外科学会	福 岡	岩本 一亜 山下 りさこ	直腸癌、肛門管癌に対する腹腔鏡手術の問題点・側方郭清のあり方— 当院の腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術症例の短期成績検討
H25.12.8	第32回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会	岡 山	佐藤 郷子	排便困難症例におけるバルーン排出訓練と直腸内圧測定の意義

特定医療法人社団高野会

くるめ病院
大腸肛門病センター

No.31

■企画・発行 特定医療法人社団高野会
くるめ病院 地域医療連携課

〒839-0865 久留米市新合川二丁目2-18
TEL (0942) 43-5757
FAX (0942) 43-6959
E-mail : ch-kurume@nifty.com

※専門病院としてのさまざまな医療情報を掲載したホームページを開設しています。
<http://www.uproad.ne.jp/kurume/>